

第45回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要

訓練目的	<p>令和6年度の「横浜市総合防災訓練」は緑区を会場として、市民・地域・企業その他関係団体等が一体となった実践的な実動訓練、防災関連団体による展示・体験エリアを設置しての防災啓発等を実施します。</p> <p>各機関との連携をより強固なものとするとともに、市民の減災意識の高揚と、地域防災力・災害対応能力の向上を図ることを目的としています。</p>
日時	令和6年9月29日（日） 実動訓練 9：15～11：20 展示・体験エリア 9：00～12：00
会場	長坂谷公園（横浜市緑区寺山町745番1号）
規模	参加機関（団体）：約60機関 参加人員：約3,000名（見学者含む）
想定	令和6年9月29日（日）午前9時40分、相模湾を震源とするマグニチュード8.1、横浜市内最大震度7の地震を観測。 家屋の倒壊や道路損壊、ライフライン等に甚大な被害が確認され、火災及び多数の負傷者が発生していることを想定します。
訓練項目	<ol style="list-style-type: none">1 消防音楽隊によるドリル演奏2 シェイクアウト訓練3 住民等による避難・救出救護訓練4 初期消火訓練5 被災状況の情報収集、緊急交通路確保訓練6 道路啓開訓練7 ライフライン復旧訓練8 救援物資輸送訓練9 行政機関による情報収集訓練10 救出部隊による捜索・救助訓練11 医療救護訓練12 火災防御訓練

<p>訓練の特徴</p>	<p>1 市民参加型の訓練</p> <p>訓練参加者には、発災から避難、近隣住民への声掛け、負傷者に対する応急救護、初期消火訓練など訓練を通じて体験していただきます。</p> <p>展示・体験エリアでは、起震車による地震体験や煙体験ハウス、VRなどを使用した災害模擬体験、能登半島地震を踏まえ被災家屋をイメージした模擬倒壊建物の設置や防災関係機関による啓発ブースをご覧ください。</p> <p>2 自助・共助の取り組み強化を目的とした防災啓発</p> <p>災害に対する正しい知識や自主防災意識の向上を図るとともに、「自分の命は自分で守る」「災害弱者は地域で守る」という意識の醸成に努めます。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>問合せ先：横浜市総務局緊急対策課 電話：045-671-2064</p>